

シンガポールからこんにちは！！

5月28日から6月7日まで、シンガポール少年少女交流事業で日本語を学んでいるシンガポール生4名が開成を訪れている。今号では、その様子について紹介する。



▲今回、少年少女事業に参加した11期生とそのパディ計8名

シンガポール少年少女交流事業とは？

このプログラムは、昭和63年度より札幌市とシンガポール共和国において、交流を通じて相互理解と友好親善を深め、相手国の生活習慣や文化の違いを体験することにより、国際的視野を広め豊かな国際感覚を身に着けた青少年を育成することを目的として、受入・派遣の相互交流を2年1サイクルで実施している。令和5年度は8月3日～17日の期間、札幌市から中学2年生12名及び引率者2名をシンガポール共和国に派遣した。

令和6年度は札幌市受入の年となり、5月26日～6月8日の期間、シンガポール共和国から訪れている。開成には昨年度シンガポールに派遣された3年生4名がいるので、その家庭に一人ずつホームステイをしながら、開成で日本の学校生活を体験している。

開成では、11期生と共に授業を受けたり、他学年の授業にも参加し交流を行っている。新聞局では5月31日に体験した書道体験について感想を伺った。



▲自分の名前をひらがなで書く体験をした様子

Q1. 書道体験の感想を教えてください！

A1. 難しかったが、楽しかったです。 (アリエルさん)
書道部の皆さんの字が綺麗で上手でした。

(クレリスさん)

初めて使った道具もあつたりと、日本の書道について興味を持つことができました。 (エミリアノさん)

初めて書道で、ひらがな・カタカナを書いて面白かった。 (アシュリーさん)

～シンガポールにはどんな部活があるの？～

シンガポールには「クロスカントリークラブ」、中国の楽器を使って演奏する「中国オーケストラ部」、「警察隊」など、日本にない部活もあります。ですが、柔道部や合唱部、バスケット部、バレー部など日本にもある部活もあるそうです。



▲今回、シンガポールから来てくれた4名
(左からウォン アシュリーさん、ン クレリスさん、シム エミリアノさん、コー アリエルさん)

日本留学について

「日本留学に来てくれたシンガポール生にインタビュー」

Q1. 日本に来てみて、どのようなことを感じましたか？

A1. シンガポールと比べて、札幌は道がとてもきれいで静かです。また、今の季節の気温も涼しく過ごしやすいです。

Q2. 日本に来ようと思った理由は何ですか？

A2. ①学校で学ぶ中で、三ヶ国語目に日本語を選択したから。

②シンガポール生のお母さんやおばあさんが日本語をしゃべれるから。

③日本料理やドラえもんが好きだから。

④2ヶ国語目に勉強していた中国語を通して、日本語に興味を持ったから。

制作者
阿部、沼津、松原
発行責任者
宮崎

開成校新聞